

ふくしのひろは

令和8年
(2026)

2月号

No.164

わっしょい!
わっしょい!

\\ 創立50年おめでとう //

お知らせ

トピックス

- ＊ みんなで作る みんなの居場所
太宰府子どもふれあい広場 P 2
- ＊ 視覚に障がいをお持ちの方の“情報サポート”
ボランティア募集♪ P 6
- ＊ 第24回 全国障害者スポーツ大会 金メダル獲得!! ... P 7
- ＊ 広報紙の音声版を聴いてみませんか? P 8
- ＊ あなたに合った仕事を一緒に探しませんか?
福祉人材センターは「福祉専門の無料職業紹介所」です ... P 8

ひろがれ! 地域の輪

- ＊ 絵本でつながる地域の居場所
『文庫おおきなかぶ』in 水城ヶ丘区..... P 3

今月の表紙

保育所太宰府園 秋祭り(11月15日)

今年は創立50年を迎え、「お祝い」をテーマに作ったおみこしは、どのクラスも華やかに完成。「わっしょい!」の掛け声とともに、みんなで協力して担ぎ、近隣を練り歩きました。

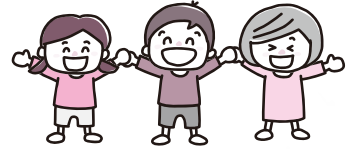
体育館では様々なコーナー遊びやコマのパフォーマンス、バルーンアート、園庭にはたくさんのキッチンカーが並び大賑わい。園児、保護者だけでなく卒園児、地域の方々も一緒に楽しんだ秋祭りでした。

太宰府子どもふれあい広場

ふれあい広場
ってなあに？

地域の誰もが気軽に集まれる“みんなの居場所”を目指して令和元年にスタートした取り組みです。子ども・若者支援団体「LYKKE」(筑紫女学園大学)と社協の共催により年に4回実施しています。

季節ごとのいろいろなテーマを企画して「LYKKE」×「社協」×「地域」で協力しながら、“みんなの居場所”づくりに取り組んでいます！



地域とつながる「太宰府ハロウィン」



前号でもご紹介した毎年恒例の「太宰府ハロウィン」♪

今年は、初めての取り組みとして、地域でお店を営む **三十三茶屋さん** と **カフェ観音さん** にご協力いただきました。両店からは以前より「何か協力できることがあれば声を掛けてくださいね」と温かいお言葉をいただいております、今回、念願のコラボレーションが実現しました♪



今回ご協力いただいた店舗の皆さんにインタビュー！



三十三茶屋 松谷 正徳さん・真梨子さん

私たちも仮装をして子どもたちと一緒にイベントを楽しませてもらいました♪

普段かわりが少ない小学生や大学生とも交流でき、とてもうれしかったです。
また来年も仮装してお待ちしています！



カフェ観音 壇 美香さん

子どもから大人まで誰もが参加できる楽しいイベントでした♪

これからもみんながつながるイベントを一緒に企画していけたらうれしいです！

「太宰府子どもふれあい広場」では、活動に協力してくれる
ボランティア・店舗・企業を募集中です♪
地域のみんなで楽しめるアイデアを一緒に考えてみませんか？

詳細はコチラ →



絵本でつながる地域の居場所 『文庫おおきなかぶ』

水城ヶ丘区自治会には、子どもたちやその家族、地域の皆さんが集い、昔話や本に親しみながら、健康で豊かな心を育む場「文庫おおきなかぶ」があります。

昭和59年にボランティアグループとして活動を開始し、現在も絵本や人形劇を通じて地域との交流を続けています。季節に合わせた多彩なイベントを開催し、子どもから大人まで、世代を超えた交流が生まれています。今回は12月に行われたクリスマス会の様子をお届けします♪



手作りの指人形

シーン
1

絵本のよみきかせ



優しい声の読み聞かせに、みんな夢中です。
クリスマスにちなんだお話もありました♪

シーン
2

おもしろい手作り仕掛け絵本



卵からニワトリに成長していく仕掛けに
みんなからも笑い声が♪

シーン
3

レクリエーションタイム☆



プレゼントのお菓子釣りで大盛り上がり!

「文庫おおきなかぶ」の皆さん



41年前に水城ヶ丘区周辺のお母さんたちが集まり、
「みんなの力が合わされば何かできるのでは」と、
かぶの種をまきました♪
手作りの人形で初めて取り組んだのが、
『おおきなかぶ』の人形劇です。
絵本に見入る子どもたちの、まっすぐ輝く瞳に感動し、
その感動が私たちの活動の原動力となっています。

取材も
終えて



子どもたちの輝く笑顔のために、人形劇用の人形を手作りするなど、温かな想いが詰まった活動がとても魅力的でした。このような活動を通じて、多世代交流が生まれ、子どもたちが安心して過ごせる地域づくりにつながっていることを感じました。

これからも、まかれた種が大きく成長し、『おおきなかぶ』のように地域の皆さんが集まってくる居場所として、素敵な出会いを生む場になることを期待しています♪

地域の支え合い情報を募集しています!

生活支援コーディネーター あまがさき 尼崎



10月31日
(金)

令和7年 福岡県社会福祉大会

この大会は、長年にわたり社会福祉の発展に尽力された皆さまの表彰と、地域福祉の課題を共有し、理解を深めることを目的とした大会です。クローバープラザで開催され、社協より役職員9名が参加しました。

記念講演では、全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子 氏が「ともに生きる豊かな地域社会」をテーマに、自身の経験を交えて講演されました。これまで「人を支える側」だと思っていたが、困難に直面した際に「支えてもらう側」になった経験を紹介され、誰もが立場を行き来すること、立ち直りには周囲とのつながりが大きな力になったことを語られました。また、日常のさりげない関わりが人を支える力になるというメッセージが印象的でした。



11月8日
(土)

社協福祉まつり「出会いの広場2025」

社協福祉まつり「出会いの広場2025」が開催され、約600名の来場がありました。このイベントでは、「地域で活動する福祉団体と地域とを結び、福祉を身近に感じてもらう」というテーマのもと、秋晴れの暖かい天気の中、たくさんの交流やつながりが生まれました。

にぎわいをみせた各コーナー

グルメ、物販、体験の各コーナーでは、ボランティア団体や、就労継続支援事業所、高齢者支援施設など、地域福祉に関わる団体がそれぞれの特色を生かして出店しました。来場者だけでなく、参加団体同士でも交流をしている姿が見受けられました。

熱気あふれるステージ

ステージには地域に根差した団体が登壇！「まほろばsing for life」、筑陽学園中学・高等学校「YELLOW PANTHERS」、太宰府高校芸術科 書道部、岩石 功さん、「ピュアハート」による、熱いパフォーマンスが繰り広げられました♪ピュアハートの演奏中、サプライズで岩石功さんとのセッションもあり、会場全体が一体となって盛り上がりました。

来場者からは、「充実したイベントで、また来年も参加したい」「身近に福祉関係者がいることを知ることができた」といった声が多く寄せられ、福祉を身近に感じる機会となりました。

また、例年、多くの学生さんがボランティアスタッフとして参加していただいておりますが、今年はウェルカムボードの作成、バルーンでの会場装飾でも活躍してもらいました。福祉とつながり、興味を持つ機会となる、ステキなイベントになったのではないかと思います。



太宰府手話の会「指文字しおりづくり」



岩石 功さん、ピュアハートによるセッション



学生ボランティアさんも大活躍!!

11月27日
(木)

第3回 福祉委員研修会

作業療法士 宮崎 有希 さん(認知症進行予防リハビリ アタマカラ代表)を招き、認知症をテーマにした研修を行いました。

研修会では、認知症の基礎知識に加え、軽度認知障害(MCI)の段階では、適切な医療ケアや環境整備を行うことで、健康な状態に戻る可能性もあること等の話がありました。

また、認知症の方のドキュメンタリー動画では、当たり前に行っていたことが徐々にできなくなり、忘れないように必死に努力される方の姿や、ふとした時に家族のことを思い出される様子が上映され、言葉として表出は難しくても、本人の想いはしっかり残っていることを、改めて認識しました。

講師から「地域では行政機関に繋ぐところまでしかできないけれど、日頃から本人に寄り添い、見守ることは、地域にしかできないのでぜひ協力してほしい」との呼びかけがあり、改めて自分たちにできることを考えるきっかけとなりました。

12月6日
(土)

貸出用車いすの安全点検

太宰府市身体障害者福祉協会の呼びかけにより、筑紫台高校自動車研究部の生徒さんによる車いすの点検作業が行われました。この取り組みは、歳末たすけあい運動の一環として毎年行われています。

当日は、車いす一台一台のブレーキやタイヤ、フレームのゆがみ、ネジの緩みなどを丁寧に確認し、必要な調整を実施。社協の貸出用車いす25台も安全に利用できるように整備していただきました。

太宰府市身体障害者福祉協会、筑紫台高校自動車研究部の皆さん、ありがとうございました。

車いすの貸出については、社協ホームページでご確認ください。

12月15日
(月)

福祉車両を寄贈いただきました

一般社団法人生命保険協会福岡協会様より寄贈していただき、12月15日に寄贈式を行いました。

双方の会長及び事務局長にて、ゴールドキー寄贈及び感謝状贈呈並びに車両の写真撮影を行いました。

この寄贈は福岡協会の職員約6,700名の方々が募金活動を実施され、各種団体へ寄贈を行われているとのことでした。

心より感謝申し上げます。皆さまからの温かいご支援を、福祉サービスの向上のため大切に活用させていただきます。



さまざまな立場から“ふくし”に関わる地域の皆さんの視点を通して「福祉＝ふだんのくらしのしあわせ」を考えるコーナーです。

太宰府高校は福岡県唯一の芸術科を有する学校であり、美術・書道領域において国内トップレベルの芸術学習を実践しています。また、芸術を通して地域の活性化に向けて様々な取り組みを行っています。

ふくしについて考えるチャンス

この度『社協福祉まつり「出会いの広場 2025」』において、ステージ上の演題・ウェルカムボードの作成、書道パフォーマンスのご依頼をいただきました。このご依頼を受けて、生徒たちが考えて、話し合いをし、福祉について考えるチャンスとなればよいと思いました。私はこの企画に関わる生徒たちに次のような課題を与えました。「どのような方が参加をされるか、福祉についての言葉を自分たちで考えること」書道の芸術性は言葉を書くという行為にあたります。以下、本校書道部1年佐藤ちひろが壇上に於て発表した文章を引用し寄稿といたします。

今回は「合縁奇縁」という四字熟語を書かせていただきました。「合縁奇縁」とは、人と人の結びつきは偶然ではなく、全て不思議な縁による必然的なものであるという考え方を表す四字熟語です。

私たちが福祉において最も重要だと考えているのが人と人の繋がりで、福祉とは、誰もが自分らしく、安心して生活するための制度や仕組みをつくるものであり、「大切な人が困っているから〇〇をしよう」「街中で困っている人がいたら〇〇しよう」など、人が他の人を想って出来上がるものが福祉で、そのためには人と人との繋がりが不可欠だと思いました。

そのため、私たちは今回のパフォーマンスで出会った皆さまとの出会いを大切に、皆さまにもこの場での出会いや繋がりを大切にしていただけたらいいという想いを込めて書かせていただきました。



視覚に障がいをお持ちの方の“情報サポート”ボランティア募集♪

点訳ボランティア「太宰府てんとう虫の会」

点訳とは私たちが通常使っている文字を、視覚障がい者向けの文字(点字)に訳することです。パソコンの点字編集アプリを使うので入力も修正も簡単です！

視覚特別支援学校や個人の方からの依頼物や社協だよりの点訳をしたり、小学校の総合学習の一環として点字を教えに行ったりしています。

パソコンをお持ちの方、平日(木曜日)に参加できる方、点字未経験の方、新しいことをはじめてみませんか？点訳の依頼もお待ちしております！

- 活動日時 毎週木曜日 10:00～15:00
- 活動場所 太宰府市総合福祉センター 2階 機能回復訓練室



太宰府市声のボランティアグループ

毎月「広報ださいふ」、「議会だより」、社協だより「ふくしのひろば」等の広報物を読み上げて録音し、声のCDを作成しています。作成したCDは社協を通して利用者へ届けられる他、図書館で貸出もされています。また、市および社協ホームページでも音声を公開していますので、ぜひ一度聴いてみてください。

現在、メンバーは12名。アットホームな雰囲気の中で楽しく活動しています！誰にでもできるボランティアです。どうぞお気軽に見学にいらしてください。

- 活動日時 毎月下旬 月・木曜日(月3回程度) 10:00～15:00頃
- 活動場所 太宰府市総合福祉センター 2階 ボランティア室など



ボランティア団体の詳細は「社協ホームページ」にも掲載しています。



“声のCD”と“点字版社協だより”のご利用については、8ページをご覧ください！



寄付のお礼

令和7年11月11日
～令和7年12月31日

一般寄付

寄付者名 ハーモニカ奏者
いわいし 功 様
行 政 区 通古賀区

寄付者名 さかき えみ こ
榊 恵美子 様
行 政 区 五条台区

物品寄付

寄付者名 筑紫遊戯場組合
つかさ筑紫野店 様
行 政 区 筑紫野市

寄付者名 桜町区自治会
行 政 区 桜町区

賛助会員へのご加入ありがとうございます

特別賛助会員(10,000円以上)にご加入いただいた方をご紹介します。

令和7年11月11日～令和7年12月31日

・オリエント産業株式会社 様 ・木村 孝 様 (順不同)

ご支援ありがとうございます。
引き続き加入受付しておりますので、ご協力よろしくお願いします。

評議員退任のお知らせ

民生委員児童委員の任期満了(11月30日)により、本会の下記委員も退任されましたのでお知らせします。長い間ありがとうございました。

役員	氏 名	選任区分
評議員	にしむら かず こ 西村 一子 様	太宰府市民生委員児童委員連合協議会
評議員	やまぐち たえ こ 山口 妙子 様	太宰府市民生委員児童委員連合協議会

佐伯幸昭前社協会長 太宰府市長特別表彰受賞！

11月3日、太宰府市功労・善行表彰において、社協会長をはじめ、長年にわたり地域福祉に貢献された功績で佐伯幸昭前社協会長が市長特別表彰を受けられました。おめでとうございます。

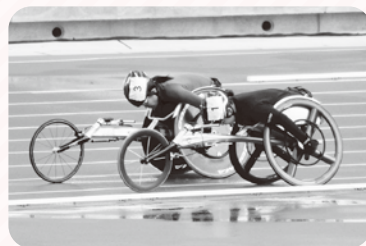
第24回 全国障害者スポーツ大会 陸上競技で金メダル獲得!!

10月25～27日に滋賀県で開催された「全国障害者スポーツ大会」において、社協職員であり太宰府市在住の片平 留依さんが、福岡県代表として陸上競技1500mと100mに出場しました。

両種目で見事1位となり、金メダルを獲得!!

1500mでは大会記録を更新し続けています。今年昨年の記録を24秒も縮め、5分7秒の好記録を樹立しました。

パラスポーツの魅力を広く伝え、その輪をさらに広げていく存在として、今後ますますの活躍を心より期待しています。



1500m最後の第4コーナー手前で抜く
(奥が片平さん)



これからも記録更新を目指し頑張ります!!

ご利用ください 福祉サービス苦情解決事業

福祉施設・事業所や在宅等で提供される福祉サービスに関する苦情の解決を図る事業です。

対象者は、現在福祉サービスを利用している方やその家族、契約内容を把握している方等です。

福祉サービス利用時の苦情について、事業所と話し合いで解決しない場合はご相談ください。相談は無料です。

※内容に応じて他の機関をご案内することがあります。

※介護保険サービスに関する苦情は、福岡県国民健康保険団体連合会の介護サービス苦情相談窓口(TEL:092-642-7859)でも受け付けています。

お問い合わせ 福岡県運営適正化委員会 事務局 TEL:092-915-3511
毎週月曜～金曜、9:00～17:00 (※祝日及び年末年始を除く)

広報紙の音声版を聴いてみませんか？

社協では、視覚に障がいのある方のため、社協だより「ふくしのひろば」、「広報だざいふ」、「議会だより」などの音声版を配布しています。(社協だより「ふくしのひろば」は点字版もあります)ご希望の方は、お気軽にお問合せください。

音声版は、以下の方法で利用できます。

- CD**
 デイジー図書専用再生機(プレクストーク)、パソコン、CDプレイヤー(MP3対応)で再生可能です。

音声版(CD)
- スマートフォン・パソコンなど**
 市及び社協のホームページで聴けます。

市ホームページ 社協ホームページ
- 太宰府市図書館での貸し出し**
 「しらべものコーナー」にあります。

あなたに合った仕事を一緒に探しませんか？

福祉人材センターは「福祉専門の無料職業紹介所」です

就職相談・職業紹介、就職イベント等を実施し、一人ひとりに寄り添ってお仕事に関する情報を紹介しています。仕事内容に関する相談や資格の取得方法、就職活動にすることなど、専門の職員が丁寧にあなたの就職活動をサポートします。

求職登録をしていただくと、紹介状の発行、インターネットから直接応募も可能です。詳しくは下記へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

福祉業界では、あなたの「できる」ことが人を支え、笑顔にします。人のために働きたい、誰かを幸せにしたい、やりがいのある仕事がしたい、そうしたいを叶えられる業界で働いてみませんか？

ホームページ →

お問い合わせ

福岡県福祉人材センター
 春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟 2階
 TEL:092-584-3310 FAX:092-584-3319
 開館時間／9:00～17:00(第4月曜日、火曜日～日曜日)

就活フェスタ

ご利用ください！

無料相談窓口

場 所 太宰府市総合福祉センター
1階相談室(太宰府市白川2番10号)

予約・お問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会
TEL:923-3230

名 称	日 程	時 間	内 容	予 約
行 政 相 談	第1金曜日	10時～15時	国・県・市町村など行政に関する相談	不要
障がい者相談	第2木曜日	10時～12時	障がい者福祉に関する相談	不要
弁 護 士 相 談	第2火曜日 第4土曜日	13時～16時	法律に関する相談(相談時間30分)	要予約 (15日前から受付)
あんしん相談	第3木曜日	13時～16時	成年後見制度に関する相談(相談時間60分)	要予約 (随時受付)

※行政・弁護士相談以外はお電話での相談も可能です。 ※祝日の場合は中止とさせていただきます。

発行

社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会
 〒818-0102 福岡県太宰府市白川2番10号
 TEL:092-923-3230 FAX:092-923-0578
 メール:dazaifushakyo-goiken@extra.ocn.ne.jp

配信

ホームページもご覧ください

太宰府市社会福祉協議会

検索

 右のQRコードからも、太宰府市社協のホームページへ簡単にアクセスできます！

スマートフォンから見やすくなりました

この広報紙は共同募金の配分金及び賛助会費等で作成されています。(赤い羽根は共同募金運動・配分事業のシンボルマークです。)

8

ふくしのひろば 令和8年2月号(No.164)